

「日本・カリコム公開シンポジウム～気候変動及び生物多様性を中心として  
～」

吉良政務官開会挨拶（案）

（９月２日 １４：００－ 国連大学ウ・タント国際会議場）

カリコム・加盟国の外務大臣及び代表団の皆様  
カリコム事務局及び東カリブ諸国機構の代表の皆様  
シンポジウム関係者の皆様  
御来場の皆様

本日は皆様ご多忙の中、日本・カリコム公開シンポジウムに御来場いただき、誠にありがとうございます。また、本日のシンポジウムの共催者である国連大学及び米州開発銀行におかれては、シンポジウム開催に向けて御尽力いただき、心より敬意を表したいと思えます。また、本日講師をお引き受けいただきましたカリコム加盟国４名の外相及び日本人の有識者・専門家の方々には、そのご協力に深く感謝するものであります。

皆様は「カリブ」と聞いて何を思い浮かべられるでしょうか。真青な空、白い砂浜と七色に輝く海、軽快な音楽、おいしいラム酒、さらには映画等で有名な「カリブの海賊」かもしれません。カリブ地域は、我々日本人にとってロマンをかきたてる地域です。

さて、本日のシンポジウムのテーマは、カリブ地域の気候変動及び生物多様性となっています。皆様御存じの通り、気候変動及び生物多様性の問題は地球規模の問題であり、国際社会全体が取り組むべき喫緊の課題です。カリコム諸国も例外ではなく、気候変動及び生物多様性の問題に直面しています。昨日行われました第２回日・カリコム外相会議におきましても、環境及び気候変動が議題の１つとして取り上げられ、有意義な議論が行われました。本年１０月には、名古屋で生物多様性条約第１０回締約国会議（ＣＯＰ１０）と森林保全と気候変動に関する閣僚級会合が開催される予定です。

14ヶ国で構成されるカリコム諸国は、豊かな自然に恵まれていますが、その多くは小さな島国であり、度重なるハリケーンや洪水、海面上昇や土壌浸食等の気候変動に起因する問題、さらにはサンゴ礁減退や森林減少等の生物多様性の損失の問題に直面しています。本日のシンポジウムでは、このような問題についてカリコム加盟国外相と日本人有識者・専門家による発表及び討議が行われます。また会場にお越しにいただいている皆様も討議に参加できますので、積極的な御参加をいただければと思います。

本年初めにハイチにおいて大地震が発生し、ハイチの人々に甚大な被害を与えましたが、カリコム諸国にとっては自然災害に対する防災も重要な課題となっています。本日は防災に関連する発表や、カリブ地域の文化や歴史、社会や経済などの概況についても御紹介いただくこととなっています。本日のシンポジウムが、カリブ海地域への理解促進の一助となることを期待します。

以上、本日のシンポジウムが参加者の皆様にとって有意義なものとなり、日本・カリコム間の友好協力関係の増進に資するものとなるよう祈念し、私の挨拶といたします。

(了)

「第2回日・カリコム外相会議」の英訳

→ the second Japan-CARICOM Ministerial-level Conference